

香大っこサポーター養成講座「説明会」（報告書）

日時：平成29年7月19日 13：30～16：00／

場所：北8号館2階 821講義室・集団療法室／受講者：5名

説明会（13時半～）

7月19日（水）幸町キャンパスで「香大っこサポーター養成講座 説明会」を実施し、5名の学生が受講しました。

まず、コーディネーターの村上特命講師から、ジェンダー・ギャップの国際比較、民俗学の知見をもとにしたジェンダーイメージの変化の歴史、男女共同参画とダイバーシティ実現の意義などについてお話しがありました。香大っこサポーターの説明については、主な活動紹介と、活動時の注意事項として個人情報・秘密の保持および傷害保険について、また、託児時の休憩（お昼寝等）の重要性について説明がありました。

次に、託児ボランティアあゆみ代表 梶ヶ谷真知子さんを講師としてお招きし、お話しをいただきました。自分が子どもの頃、どんな子どもだったかを思い出し、色々な性格の子どもがいること、その子どもとの接し方について等お話しいただきました。そして、妊婦体験ジャケットを使用し、妊婦さんがいかに大変かを体験したり、新生児の人形を抱っこして重さ確かめたり、安全な抱き方を教えていただいたりと、その危うさについて学びました。

また、集団託児についての注意点、オリジナルのおもちゃを用いてのテクニック等もお話しいただきました。



模擬託児体験実習（15時頃～）

今年は、3組の親子に参加していただき、9か月～2歳4ヶ月までの4名の子どもたちがやってきました。まず最初は、受講者全員でお母さん方の車までお迎えに行き、荷物を持つなどのサポートをしながら、お部屋までを案内しました。

模擬託児実習が始まってすぐは、やはり子どもたちに積極的に関わっていくのは躊躇があるようで、少し距離をあけて様子を見ている、といった時間がありました。ですが、少しずつ子どもたちも受講生たちもなじんでいき、積極的にももちゃで遊ぶ様子が見られました。

最後は、受講者全員でお母さん・お子さんたちを車までお送りし、模擬託児体験実習を終えました。

受講生からは、「滅多に子どもとふれ合う機会がないから、とても戸惑った」などの感想がありました。

